

道徳科学習指導案

主題名「しんせつは いい きもち」〔学指要領：B 親切、思いやり〕

令和5年10月 第1学年 指導者 林 さとみ

I 主題設定の理由

1 価値観

本主題は、第1学年及び第2学年内容項目B－(7) 親切、思いやり「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること」に基づくものである。親切や思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることであると考えられる。なぜなら自分のことばかり考えたり、自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできず、互いが相手に対して親切や思いやりの心をもって接するようにすることが不可欠であるからである。小学校1年生の時期の児童は、家庭や学校での大人からの言葉掛けなどから、人に優しくすること、親切にすることは、よいことであるということは知っている。しかし、親切にすることの喜びや、そのよさを十分理解しているとは言い難い。そのため、「褒められるから」「大人が言うから」で親切にするのではなく、親切にすることで得られるよさについてしっかりと考え、理解させ、身近にいる人に親切にしようとする心情を育てることが大切である。また、今後、この内容項目は第3学年及び第4学年においては、「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」へと発展する。

2 児童観

研究協力校（以下、協力校）の第1学年の児童は、人に優しくすること、親切にすることは、よいことであると知っていて、友達に対して優しく接している児童が多い。一方で、親切にすることの喜びや、そのよさを十分に理解している児童は少ない。そのため、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるよう、身近にいる人との触れ合いの中で、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにしていくことが必要である。これらのことから、本授業を通して、「意地悪をしたときよりも、親切にしたときの方がずっと気持ちがよい」ということに気付かせたい。そして、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるようにし、身近にいる人に親切にしようとする心情を育てたい。

3 教材観 教材名「はしのうえのおおかみ」（出典：「いきるちから1」日本文教出版）

自分より弱い者であるうさぎ、きつね、たぬきに意地悪をすることを楽しんでたおおかみが、くまに優しくしてもらって、これまでの自分を反省し、くまのまねをして親切にしてみる。そうすると、不思議なことにおおかみは、意地悪していたときよりもずっとよい気持ちになるというあらすじである。

本教材は、意地悪をしたときよりも、親切にしたときの方がずっと気持ちがよいことを理解させたり、身近にいる人に親切にしようとする心情を育てたりすることができる教材である。主人公のおおかみが、くまのまねをしてうさぎに親切にする場面での気持ちを考えさせることで、親切への憧れやできるようになりたいという思い、そして、親切にしたときの温かさに気付くことができる教材となっている。また、親切にすることの喜びや、そのよさを理解させることができる。

4 研究との関わり

協力校の第1学年の児童は、発達の段階において自分中心に物事を考える傾向にあり、相手の立場に立って気持ちを考えることに課題が見られる。また、自分の考えを相手に伝えたいという気持ちはあるが、文章で書き表すことへの支援が必要である。そこで、道徳科の授業で、道徳的価値と向き合い、友達の考えに触れ、自分の考えを深めることができるよう、ワークシートとICTを活用した授業の工夫を行うことが有効だと考え、次の手立てを設定した。

手立て1は、中心発問の場面で、登場人物の心情を考えるためのワークシートの工夫とICTの活用を行う。ワークシートの工夫は、場面絵の登場人物の顔をシルエットにして表情を描いたり、吹き出しに言葉を

入れたりできるようにする。ICTの活用は、教師が、児童のICT活用の習熟度に合わせて、AとBの活用の仕方を選択する。Aは、児童が、紙のワークシートに考えを記入して、タブレット端末のカメラ機能で写真を撮って提出箱に提出する。Bは、デジタルのワークシートに考えを記入して、提出箱に提出する。AとB共に、提出箱に提出された児童のワークシートを基に、全体で交流して友達の考えに触れることで、登場人物の心情を様々な角度から捉えることができる。

手立て2は、振り返りの場面で、自分の考えを表現するためのワークシートの工夫を行う。まず、二つの視点から自己評価をする。視点は、①話合いをして発見したことがあった(多面的・多角的な見方)、②これから自分が大切にしたいことが分かった(自分自身との関わり)である。次に、三つのキーワードから自分の考えを文章で表現する。キーワードは、「きょうは、〇〇ということをはっけんしたよ」「いままで、わたしは、〇〇だったな」「これからは、〇〇していきたいな」である。自己評価と共にキーワードを活用することで、自分の考えを文章で表現することができる。

II 本時の学習

- 1 **ねらい** くまに親切にされたおおかみの変容を通して、意地悪をしたときよりも、親切にしたときの方がずっと気持ちがよいことを理解し、身近にいる人に親切にしようとする道徳的心情を育てる。

【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 主な発問 (◎中心発問◇補助発問) 予想される児童の反応 [S]	◎研究上の手立て ○指導上の留意点
<p>1 本時で扱う道徳的価値について、動画を視聴して問題意識をもつ。(導入5分)</p> <p>S:出てくる人は、みんなだれかに優しくしているね。</p> <p>S:女の人は男の人が落とした物を拾ってあげると思う。</p> <p>S:親切にしたりされたりして、みんな嬉しそうだね。</p> <p>S:今日は、「親切」についてみんなで考えるのかな。</p>	<p>○親切について問題意識がもてるように、親切に関する動画を視聴させる。</p> <p>※動画「Life Vest Inside kindness Boomerang」</p> <p>○児童の問題意識を基に、学習のめあてを設定することができるように、本時のねらいに迫るような児童の反応を取り上げる。</p>
<p><めあて>しんせつにすると、どんないいことがあるのだろう。</p>	
<p>2 教科書の教材文の範読を聞く。(5分)</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。→配付されたデジタルのワークシートに、自分の考えを記入して提出箱に提出をする。【★入力・提出】(展開①20分)</p> <p>◎「えへん、へん。」と言ったとき、おおかみはどんな顔をしていたのでしょうか。また、どんな気持ちでしたか。</p> <p>S:にこにこ顔。うさぎさん、喜んでくれたかな。</p> <p>S:かなしい顔。意地悪してごめんね、もうしないよ。</p> <p>S:ふしぎな顔。どうして前より気持ちがいいのかな。</p> <p>◇おおかみが、前よりいい気持ちになったのは、どうしてでしょうか。</p> <p>S:くまさんみたいに、いいことができたから。</p> <p>S:意地悪じゃなくて、優しくできたから。</p> <p>S:うさぎさんに親切にしたら喜んでくれて、嬉しかったから。</p>	<p>○登場人物の心情や場面に着目できるように、大型テレビでスライド資料(場面絵)を見ながら範読を聞くよう促す。 【★提示】</p> <p>◎おおかみの心情を考えることができるように、顔のシルエットや吹き出しのある場面絵(おおかみがうさぎに親切にしているところ)を使ったデジタルのワークシートに、自分の考えを記入するよう促す。</p> <p>◎顔のシルエットには表情を手書き機能で描き、吹き出しには気持ちをキーボードで文字入力するよう促す。</p> <p>◎おおかみの心情を様々な角度から捉えることができるように、提出箱に提出された児童のワークシートを基に、全体で交流して友達の考えに触れることができるようにする。【★一覧表示・共有】</p> <p>○自分や友達の考えを振り返ることができるように、板書で児童の考えを分類・整理する。</p>

<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。（展開②5分）</p> <p>S:自分も友達も、みんながいい気持ちになるね。</p> <p>S:意地悪をするよりも親切にするほうが、ずっといい気持ちになるね。</p> <p>S:親切ってどんどんつながっていくね。</p>	<p>○一人一人の児童が、親切のよさと向き合うことができるように、児童を意図的に指名し、本時のめあてに迫る考えをクラス全員で共有する。</p>
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。（終末10分）</p> <p><振り返り></p> <p>S:きょうは、いじわるをするよりもしんせつにするほうが、ずっといいきもちになることをはっけんしたよ。</p> <p>S:これからは、ともだちにやさしくして、しんせつがどんどんつながっていくといいな。</p> <p>S:いままでは、ブランコをかせなかつたけど、これからは、みんなにブランコをかせてあげたいな。</p>	<p>◎自分の考えを表現できるように、ワークシートを活用して①と②の振り返りをするよう促す。</p> <p>①二つの視点から自己評価をさせる。</p> <p>【二つの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話合いをして発見したことがあった。（多面的・多角的な見方） ・これから自分が大切にしたいことが分かった。（自分自身との関わり） <p>②自己評価に合わせてキーワードを選択し、自分の考えを文章で表現させる。</p> <p>【三つのキーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうは、○○ということをはっけんしたよ。 ・いままで、わたしは、○○だったな。 ・これからは、○○していきたいな。
<p>◆評価の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言、ワークシートの記述から、「親切にすることの喜びやよさについて、多面的・多角的に考えている」姿を見取る。 ・発言、ワークシートの記述から、「親切にすることの喜びやよさについて、自分自身との関わりの中で考えている」姿を見取る。 	

2 板書計画

テーマ（しんせつ） はしのうえのおおかみ

めあて しんせつにすると、どんないいことがあるのだろう。

しんせつにすると

- ・あいてがよろこんでくれて、じぶんもうれしい。
- ・いじわるするよりも、ずっとずっといいきもち。
- ・みんなのところがつながる。
- ・いじわるなところがしんせつなところにかわる。


場面絵①
おおかみがうさぎに意地悪したとき

おれは、つよいぞ。いばるときもちいい。もっとしたいな。

場面絵②
おおかみがくまに親切にされたとき

くまさん、すごいな。やさしくて、びっくり。やさしくされるってうれしいな。ぼくもまねしてみたいな。

かんがえよう おおかみのきもちは？



うさぎさん、よろこんでくれたかな。いじわるしてごめんね、もうしないよ。どうしてまえよりきもちがいいのかな。くまさんみたいに、いいことができた。いじわるじゃなくて、やさしくできた。うさぎさんが、よろこんでくれてうれしい。